



種名 : コウライギギ *Tachysurus fulvidraco*
分類 : **特定外来生物*** **純淡水魚** **東アジア原産**
*特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律

○大きさ

- 成魚：8～35cm

○生息箇所（すみか）

- 利根川や霞ヶ浦の全域に侵入しています。
- 近年、霞ヶ浦から利根川水系、渡良瀬遊水地等に定着しています。

○生態（どんな生活をしているか）

- 国内のギギの仲間と同じで肉食で水生昆虫(ヤゴ等)を食べます。
- 春から夏(4～7月)が産卵期。石のすき間に卵を産みます。
- 近年侵入が確認された比較的新しい国外外来種です。
- 琵琶湖のギギによく似ていますが、全体的に黄色みがかっています。ナマズによく似ていますが、むなびれにとげがあります。

○釣りや漁業

- 漁業や水産利用(すいさんりよう)はありません。
- 特定外来生物に指定されているため、捕獲したコウライギギを生きのまま他の河川や湖、沼に移動することは法律で禁止されています。

○地域利用

- 韓国や中国等では重要な食用魚類で市場や食堂で見かけるそうですが日本では利用はありません。
- 2008年に霞ヶ浦西部の小野川でみつきり、利根川水系を通じて広がっています。今後の分布拡大(ぶんぷかくだい)に注意する必要があります。見つけたら絶対に放さないでください。